

藤里町「白神」ブランド化プロジェクト

目的

藤里町は、世界自然遺産白神山地の「南の玄関口」であり、その地域特性を活かした活性化を図るため、新たな地域資源の掘り起こしとして「あきた白神めん羊」や「あきた白神りんどう」など、特色ある農畜産物による「白神」ブランドの確立に取り組むとともに、林道米代線の全線開通や世界遺産登録20周年を契機とした各種活性化策に取り組む。

藤里町 「白神」ブランド化プロジェクト

●総事業費 約2.3億円（交付金額2億円） / ●事業期間 25～28年度

町事業群

【1】あきた白神めん羊ブランド化事業

- ①白神ラム肉供給体制の整備
- ②白神ラム肉ブランド化の取組
- ③大野岱放牧場の見学受入体制の整備

【2】あきた白神りんどうブランド化事業

- ①あきた白神りんどう畑整備事業
- ②あきた白神りんどうブランド化の取組

【3】町特産物による食事メニュー、新たな白神ブランド食の開発

- ①特産物をフル活用した町共通の食事メニューの開発
- ②新たな白神ブランドとして売り出せる加工食品の開発

【4】林道米代線開通及び世界遺産登録20周年を契機とした活性化事業

- ①白神ブランドPRのための観光案内看板の設置
- ②素波里園地の再整備
- ③地域住民との協働による環境美化・景観整備事業
- ④誘客促進事業



- 【県事業】①白神山地ラム生産拡大モデル事業
- ②リンドウ・ダリア全国トップブランド産地育成事業